



あらい かずお 議員

■米の概算金について

Q 今年の米概算金は昨年同様引上げとなり、ひとめぼれ60kg 3万1000円、あきたこまち3万5000円となった。米価高騰や労働力不足で今後も再生産できるか懸念される。どう分析しているか。

A 今後米価が下がったとどうするか。米価が2、3年後にどうなるか懸念される。国は、米不足のため増産するというのが、米余りとなった時が心配される。備蓄米を増やし必要時に放出することが必要である。放出することで価格を安定させるように注視をしていく。



■オガニック農作物の学校給食等への導入について

Q 市は学校給食への導入を検討している。有機物は化学肥料や農薬を使用しない食材を活用することから児童生徒の健やかな心身を育む。環境教育の観点からも意義がある。進捗状況を伺う。

A 一定の有機米収量があることから、有機農業推進協議会と協議し、慣行米との価格差を市が負担し、学校給食に提供いただくことで準備を進めている。今回提供する学校は、大迫小、大迫中、東和小、東和中の4校。12月4日から5日にそれぞれ1回、合計685食を予定している。

■こども誰でも通園制度について

Q 来年4月からの「こども誰でも通園制度」について疑問や課題があるが、実施までのスケジュール等、課題を伺う。

A 本制度は、生後6か月から満3歳未満の保育園などに入園していない子供を対象とし、月一定時間までの可能枠の中で保育などを柔軟にできる新たな通園制度である。今年の12月定例会に条例案を提案する。8月1日からパブリックコメントを実施し、意見の内容を検討している。来年3月に事業を実施する事業所の認可を行う。

■マイナ保険証の有効期限切れについて

Q マイナカード健康保険証利用登録者が、有効期限切れへの対処ができず、無保険者となる事態が生じることがないか伺う。

A 有効期限の3か月前から更新手続きできるが期限の2、3か月前を目途に「有効期限通知書」が送付されるほか、更新手続きを行わず有効期限が経過した後も3か月間は、引き続きマイナ保険証として利用することが可能である。保険者である市も、更新手続きが行われない場合、資格確認書を交付し、従前どおり医療機関等を利用できる。



おばら やすのぶ 議員

■廃校校舎の企業等への利活用について

Q 市と民間事業者とが連携し、企業が廃校校舎を活用し、オフィスや地元特産品の加工工場など企業等への利活用について伺う。

A 本市の場合には、様々な事業を行っている民間事業者があり、その中で廃校校舎の利活用に興味を示す事業者がいる場合には、その支援について検討する可能性はある。



■防災道の駅の認定及び登録の申請について

Q 能登半島地震において防災道の駅が大きな役割を果たしたことを踏まえ、東北、岩手県のため認定及び登録の申請をする考えはないか伺う。

A 釜石道のインターチェンジから近い立地を活かして、道の駅とうわを防災道の駅として整備することが望ましいという結論になった場合、市の財政的な負担や地域振興への寄与などのメリットがどうなるのかを勘案のうえ、防災道の駅としての選定に向けて国及び県に対し要望したい。



こもり たかひろ 議員

■(仮称)花巻市こども計画策定の進捗状況について伺う。

Q (仮称)花巻市こども計画策定の進捗状況について伺う。

A 現在、市は県や近隣自治体のこども計画の調査研究を進めており、今後は10月中旬に策定支援の事業者の選定、12月に市内の小中学生・中学生やその保護者、高校生年代から30代までの市民を対象としたアンケート調査を実施する予定である。この回答結果を踏まえ、来年度はワークショップを開催し子どもの意見聴取を行った上で令和8年度に計画



策定を行いたいと考えている。

■避難所の環境改善について

Q エアコンが整備されている教室・特別教室を避難所として活用する考えについて伺う。

A 現在、市内で避難所に指定されている小中学校では避難者を体育館で受け入れることを想定しているが、近年の気温上昇により体育館の利用は難しい状況にある。今後、小中学校の長期休暇期間で暑さ対策が必要である場合は、状況をみながらエアコン等が整備済みの普通教室や特別教室が活用できるよう準備を行っていききたい。



いぬい かずまさ 議員

■街なかにおける官民連携事業について

Q 公共空間活用における官民連携事業の必要性について伺う。

A JR花巻駅橋上化、新花巻図書館整備をはじめ民間活力を導入するためのハード整備を行うとともにリノベーションシヨンまちづくりを進めてきた結果、立地適正化計画に定める都市機能誘導区域域内において飲食店など出店が増えている現状にある。JR花巻駅前から上町に至る街なかのエリアをマネジメントする民間の担い手がいれば都市再生法人として指定することも含め、エリアの活性化について市



はくわい はじめ 議員

や市民全体で検討していく。

■宮沢賢治童話村の整備について

Q 宮沢賢治童話村の整備方針について伺う。

A 童話村は全体の老朽化が進んでいる状況にある。今後、改修を進めていくが、改修に当たっては国の交付金を活用しながら市の財政状況や今後の見通しも踏まえ、財政規模に見合った事業費、持続可能な施設運営を前提とし、市民や知見のある専門家からも意見を伺いながら、今後も賢治童話の世界を皆様に楽しんでもらうにはどのような整備をするべきか検討を進めていく。



ささき たけまさ 議員

■米の生産について

Q 米生産に対する国の方針への見解と、生産者への支援策について伺う。

A 国は米の安定供給等実現関係閣僚会議において、将来にわたり生産者が意欲をもって持続的、安定的に米を生産し消費者の手に取りやすい価格で供給することを目指している。市においても、新規就農者に対する相談窓口を設けたりスマート農業技術の活用等、農業振興の支援を続けて参りたい。



■林業の振興について

Q 主伐後の再造林が進んでいない状況にあたり、現在の林業における支援内容について伺う。

A 市では森林環境譲与税を財源として、国または県の補助金に上乗せして、再造林、下草刈り、樹種転換、除伐、保育間伐、作業道について事業費の90%まで補助をしている。再造林が進まない状況であることは認識しており、全額補助することにより、再造林が進むのであれば検討する必要があると思われる。